

平成27年度県産農林水産物等の輸出実績について

平成27年度の県産農林水産物等の輸出実績について、別添のとおりとりまとめましたので、ご報告します。

当実績は、本県施策の重要な指標のひとつとして、毎年度調査しているものです。

○平成27年度県産農林水産物等の輸出実績の概要

・本県産農林水産物等の輸出額は43億3千万円。(前年比122%)

※ 輸出目標額：平成31年度までに44億円を目指す。

(出典：熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略)

・部門ごとの輸出実績は次のとおり。

	平成27年度輸出実績	(参考)平成26・25年度輸出実績	
	輸出金額(対前年比)	平成26年度	平成25年度
農畜産物	548,927千円(145%)	378,785千円	303,555千円
林産物	1,434,239千円(147%)	978,394千円	471,086千円
水産物	2,349,643千円(108%)	2,184,948千円	1,667,680千円
合計	4,332,809千円(122%)	3,542,127千円	2,442,321千円

流通アグリビジネス課・林業振興課・水産振興課調べ
(県が輸出を把握している団体・業者への調査)

お問い合わせ先

流通アグリビジネス課

楮本・水上 <内線：5396(直：096-333-2395)>

林業振興課

入口・大和 <内線：5633(直：096-333-2446)>

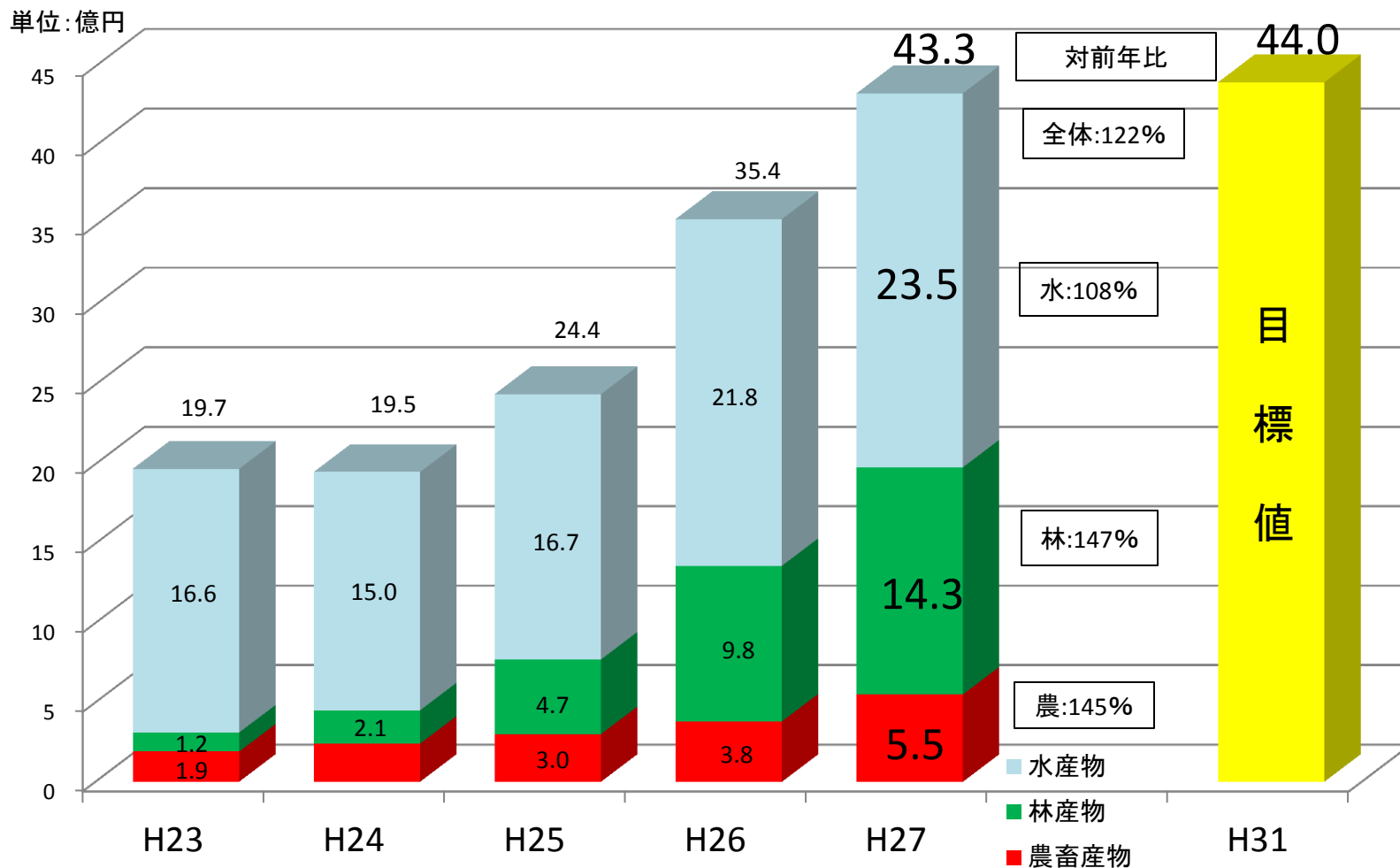
水産振興課

森野・渡辺 <内線：5677(直：096-333-2457)>

平成27年度県産農林水産物等の輸出実績

(県調べ)

1



- 平成27年度県産農林水産物等の輸出額は、初めて40億円を超え、43億3千万円となった。
- 農林水産物いずれも順調に輸出を伸ばし、前年対比122%となった。

各部門の概要

① 農産物

〈 概 要 〉

- 輸出額は、主力の香港向けを中心に順調に増加。シンガポールやアメリカへの輸出が大幅に伸びた。
- 輸出拡大や商流開拓に向け、香港事務所の開設(平成27年9月)や関係団体等と連携したトップセールス、熊本フェア、飲食店向け商談会等を開催。また、船便輸送による低コスト化を推進。
- 輸出促進アドバイザーによる巡回指導やバイヤー招へい、現地での販売実証等により、新たに輸出に取り組む事業者の掘り起こしと商談機会の創出等を図った。



香港事務所開設レセプション

【平成27年度 農産物等の品目別・国別輸出状況】

(単位:千円)

	米	かんしょ	トマト	いちご	温州みかん	梨	牛肉	その他	合計	対前年比
香港	6,281	13,911	11,222	39,082	651	0	199,160	44,674	314,981	135%
シンガポール	52,556	6,622	13	275	155	117	0	32,269	92,007	438%
アメリカ	434	0	0	0	0	0	76,606	0	77,040	243%
台湾	1,370	2,367	0	158	0	3,122	0	3,065	10,082	58%
その他	4,787	330	79	940	37,807	0	4,475	6,399	54,817	73%
合計	65,428	23,230	11,314	40,455	38,613	3,239	280,241	86,407	548,927	145%
対前年比	253%	83%	141%	79%	63%	32%	190%	181%		

〈 品目別の輸出状況 〉

- 米:シンガポールの現地精米工場を活用した玄米輸出が大幅増加。(対前年比253%)
- 牛肉:香港やアメリカの飲食店等向けプロモーションにより輸出額が増加。(対前年比190%)
- トマト:生食需要拡大に向けたプロモーションにより、輸出額が増加。(対前年比141%)
- その他:梨は天候被害により大きく減少。(対前年比32%)

② 林産物

〈概要〉

- 国別輸出額は、中国、韓国、台湾向けの順。中国におけるスギ丸太及び韓国におけるヒノキの需要拡大により輸出量・輸出額ともに大幅に増加した。
- 東アジアをターゲットに加工・流通状況の調査、住宅総合展示会出展、製材品のテスト輸出、海外バイヤーとの商談等を実施し、新規国への販路開拓に取り組んだ。

【平成27年度 木材の輸出状況(国別)】

輸出国名	丸太		製材品		合計		対前年比 (金額)
	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	
中国	76,691	908,239	1,828	56,337	78,519	964,576	173%
韓国	22,037	426,103	536	31,100	22,573	457,203	138%
台湾	943	10,191	0	0	943	10,191	13%
ベトナム	0	0	78	2,269	78	2,269	22%
合計	99,671	1,344,533	2,442	89,706	102,113	1,434,239	147%

〈品目別の輸出状況〉

- 輸出量の約98%が丸太で、製材品はわずか。製材品の輸出拡大を図るため、平成27年度は、中国、韓国向けに製材品のテスト輸出を実施。
- 中国、台湾では、比較的価格の安い低質な材(B～C材)が求められており、木質パレット、型枠用等にスギが利用されている。
- 韓国では、健康に良い素材としてヒノキの人気が高く、内装用、家具用としての需要が拡大。
- 昨今は、中国及び韓国において、家具用、棺桶用等としてのスギ大径木の需要が高まっている。



シンガポールで開催された展示会に出展

③ 水産物

〈概要〉

○北米、EU、アジア(韓国、香港、台湾、シンガポール等)向けに、ブリ、マダイ、カンパチ、マグロ等の養殖魚を中心に輸出。北米、アジアへの輸出額は、需要拡大により増加傾向。

○市場拡大が期待されるアジア市場への販路拡大のため、ベトナム等において現地の輸入商社との商談を実施。

【平成27年度 水産物の魚種別・地域別輸出状況】

(単位:千円)

	ブリ	マダイ	カンパチ	マグロ	その他	計	対前年比
北米	1,449,704	29,355	69,389	3,259	13,546	1,565,253	105%
アジア	186,153	468,278	3,822	6,788	27,068	692,109	106%
韓国	35,948	456,840	0	0	0	492,788	108%
香港、台湾、 シンガポール等	150,205	11,438	3,822	6,788	27,068	199,321	100%
EU	85,616	2,321	2,346	0	1,998	92,281	211%
計	1,721,473	499,954	75,557	10,047	42,612	2,349,643	108%

〈品目別の輸出状況〉

○ブリ:北米、EU、アジアの需要拡大により、輸出額が増加。

(対前年比110%)

○マダイ:北米向けの需要拡大により、輸出額が増加。(同105%)

○カンパチ:北米向けの需要縮小により、輸出額が減少。(同88%)



ベトナムにおける商談